

令和6年度上大久保中学校だより

上中だより

第10号

令和7年1月31日(金)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「考えることの大切さ」

校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

今年の節分は2月2日、立春は2月3日です。(前年がうるう年であった関係で今年はこの日付になるということを知りました。) 話題の恵方巻の特集や、今年の方角は「西南西」などの情報が取り上げられているのを目にするようになりました。また、暦の上では「春」というお話を聞くと、気持ち的に明るくなれるような気がします。3年生は1月の私立高校等の入試を終え、2月26日・27日の公立高等学校受検に向け、ラストスパートに入ります。今回の入試から、全ての県公立高等学校で電子出願となり、紙の願書に書いて提出することが行われなくなりました。合格発表の際の高等学校での掲示もなくなり、全てインターネットで確認することに変更されました。電子出願等に係る確認を慎重に行いながら、3年生が全力で受検に臨めるように努めてまいります。また、2年生は、館岩自然の教室を無事実施することができました。帰ってきたときの様子を見ると、疲れはあるものの皆それぞれ楽しい表情だったのがとても印象に残っています。

先日、アメリカの野球殿堂入りを果たしたイチローさんのことが多く報道されていました。選考の投票で満票に一票足りなかった際の「**やっぱり不完全であるというのはいいなって、生きていくうえで、不完全だから進もうとできるわけです。そういうことを改めて考えさせられるというか、見つめ合える。そこに向き合えるのは良かったなと思います。**」というコメントにはとても胸に響きました。「**小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道だ**」という言葉の通り、イチローさんは自分の目標達成に向け日頃から様々なことに対して意識して生活していたという話を聞いたことがあります。1月の箱根駅伝を制した青山学院大学陸上部では「自律」ということを大切に、**学生たちは、目標は何で、今自分に足りないものは何なのか、それを学生一人ひとりが考えたり、話し合ったりしながら練習を続けている**そうです。「人間は考える葦である」というフランスの哲学者パスカルの言葉がありますが、彼は著書の中で「**人間は自然の中では葦のように弱い存在である。しかし、人間は頭を使って考えることができる。考えることこそ人間に与えられた偉大な力である**」ということを述べています。昨今 AI (人工知能) が至る所で使われるようになってきていますが、自分自身の夢や目標に向け、日頃から「考える」ことはとても大切なことであり、考えたことを実践していく中での様々な試行錯誤や、失敗と成功を繰り返しながら子供たちは成長につながっていくのだと思います。左側の文章は、1年生の保健の

授業で書かれていたものです。中学生の時期は、心身ともに大きく変化をしていきます。このような時期だからこそ、自分で考え、判断し、責任ある行動をとれるように導いてあげる必要があります。そのためにも学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長を見守ってあげたいと思っています。ご協力お願いいたします。

大人になるということとは

お互いの違いを認め合える
 先のことを考えて行動、判断することができる
 自分だけでなく、相手や周りのことも大切にすることができる
 自分の行動に「責任」をもつことができる

自分の力で生きていくことができる

サッカーボールを寄付していただきました!!



明治安田の「サッカーボール寄贈～未来世代応援アクション with カズ～」という取組を通して、サッカーボールを2個寄付していただきました。サッカーボールと一緒にいただいたパネルには、「**僕は、「夢は、語った方がいい。言わなきゃ、何も始まらない。」そう思っています。未来に向かってたくさん挑戦してみてください。**」という三浦知良選手からのメッセージがあります。今でも現役プロサッカー選手として活躍しているカズ選手の言葉を深く受け止めてくれることを願っています。



今年も花粉観測機を設置しました!!

さいたま市健康科学研究センターのご協力のもと、今年度も「花粉観測機ポールンロボ」を校内に設置しました。この観測機で得られたリアルタイムの花粉情報をウエザーニュースのサイトでご覧いただけます。

本校ホームページにウエザーニュースのサイトに入れるリンクを掲載していますので、今後の花粉症対策にご活用ください。